

# 「大便器フラッシュバルブ」施工のポイントのお知らせ



## 施工のポイント

フラッシュバルブを採用する場合は、便器の洗浄機能を確保するために下記条件を満たすよう配管設計してください。



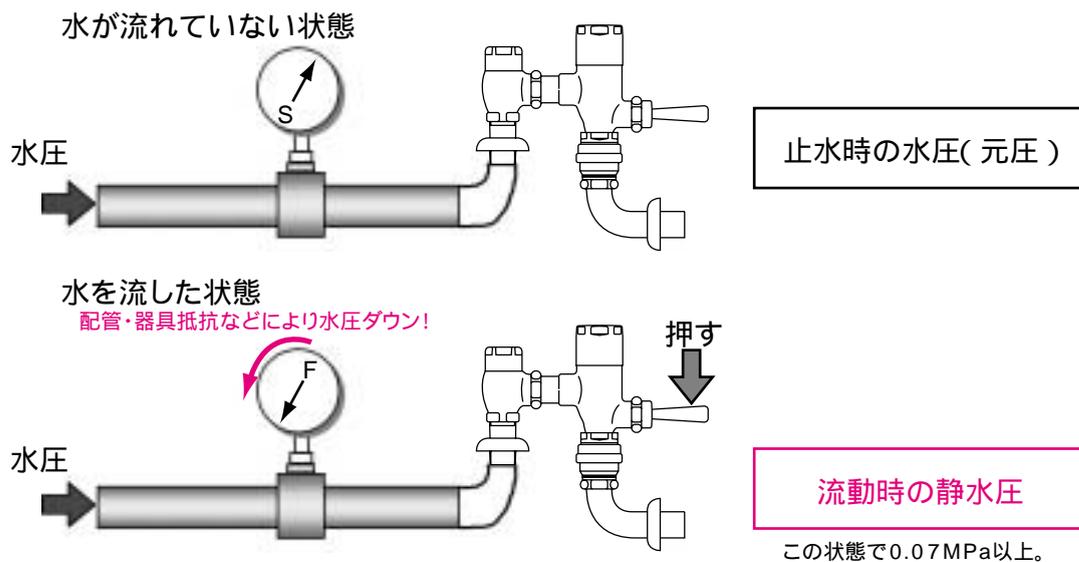
結構トラブルが多い…

**ポイント1** 洗浄に必要な最低水圧は「0.07MPa(流動時)」になります。

最低必要水圧は、「流動時の静水圧」です。よって、フラッシュバルブのレバーを押し水を流している状態で、0.07MPa以上の水圧が確保できるよう設計してください。

(リモコン形フラッシュバルブをC550RU・C454PVと組み合わせる場合の最低必要水圧は、0.1MPa(流動圧)以上)

流動時の静水圧とは・・・



**ポイント2** 給水管径は25A以上にしてください。

便器の洗浄機能を確保するため、瞬間流量が17L/sec以上必要です。よって、給水管径は25A以上にし、上記瞬間流量を確保できるよう設計してください。

(器具数を十分考慮し、余裕を持った配管径を選定してください。配管径25A以上になるので、一般住宅でフラッシュバルブは使用できません)

最低必要水圧0.07MPa(流動時)を確保できない場合は、**低压フラッシュバルブ**をご使用ください。但し、その場合も0.04MPa(流動時)以上の水圧が必要です。

(低压フラッシュバルブはサイホン便器、サイホンゼット便器(C716・C426は除く)、ブローアウト便器には使用できません。)

井戸水、再生水、雑用水を使用する時は、再生水仕様品をご使用ください。